

《 開催報告 》

**安全登山サテライトセミナー(全3都市:東京、名古屋、大阪)の開催報告**

日本スポーツ振興センター(JSC: JAPAN SPORT COUNCIL)が管理・運営する国立登山研修所(富山県立山町)は、今年度初の取り組みとして東京、名古屋、大阪の3都市においてそれぞれ2日間のセミナーを開催し、あわせて600名を超える参加者が安全に登山を行うことの重要性や手法について学びました。

本セミナーは、近年、登山者数の増加に伴い、山岳遭難者が増加しているという社会的背景を鑑み、これまで地理的条件や日程的な制約で登山研修所での研修会や講習会へ参加が出来なかった層や、安全登山のための基礎的な知識を習得しようとしている層へのアプローチを目的として企画しました。

セミナーの内容については、これまで登山研修所において積み重ねてきた実践的な登山に関する知識を伝えることに主眼を置き、参加者にはセミナー参加後に各自の団体等において実践・普及してもらうことや、将来的に登山研修所でより高いレベルの研修や講習に参加するための基礎を築くことを期待しています。

＜実施概要＞

東京会場:7月21日(土)～22日(日)、国立オリンピック記念青少年総合センター 168名参加

名古屋会場:11月3日(土・祝)～4日(日)、名古屋工業大学 285名参加

大阪会場:12月1日(土)～2日(日)、株式会社モンベル本社 181名参加

＜主なセミナー内容＞

●登山のプランニングとリスクマネジメントに関すること

登山におけるPDCAサイクル(計画、実行、評価、修正)の重要性、様々なリスクの想定と評価(リスクの程度)や対処法等について、グループワークも交えた講義を行いました。

●気象や雪氷、積雪、雪崩に関すること

気象や積雪など、自然に関する専門的知識とそれらに潜むリスクについて考えるとともに、気象遭難や雪崩への対策、対応について講義を行いました。

●医学、運動生理学に関すること

登山時に起こり得る傷病の事例とその対応、登山に必要な筋力やトレーニングに関することなど、登山と身体に関連について講義を行いました。

上記の他、高等学校山岳部の活動に関する内容、読図やロープワークの基礎知識などに関する内容、危急時の対応や登山指導者と法律との関係についての講義も行いました。

お 知 ら せ

登山研修所での研修会や講習会へ参加できない層に対しても広くアプローチする施策として、現在、安全登山サテライトセミナーに加え、高校登山部顧問等を主な対象とした指導者用テキストの製作をしています。本テキストについては年度末の発行を目安に編集を進めています。